



銀座の言語景観7

日本大学文理学部国文学科
日本語学基礎演習2

- はじめに
- 銀座の百貨店における外国人観光客への取り組み
- 銀座オフィシャル掲載の飲食店における言語表示の実態
- 料理店のジャンルごとの言語景観の違い
- 各地域のマツモトキヨシにおける言語景観の違いから銀座のあり方を考える
- 銀座周辺のデパートにおけるピクトグラムについて
- 銀座百貨店のレストラン街における言語景観の比較

 検索

第7章 銀座百貨店のレストラン街における言語景観の比較

7.6.松屋銀座のレストラン街における言語景観について（木原小絵香）

7.6.1.調査概要

松屋銀座は日本百貨店協会に加盟している、他国から多くの観光客が訪れているデパートである。その中で、レストラン街に着目し、料理ジャンルごとに、和食・洋食・中華・カフェ・イタリアンに分類し、店舗の特徴と言語表記されているかを調査した。

7.6.2.調査結果

表1 対象店舗と価格帯、掲示物の有無

店舗名	ジャンル	価格	店頭メニュー	立て看板	ポスター	垂れ幕	ポップ	パンフレット	ショーウィンドウ
B1階									
寿司田	イートイン	1000~						○	○
茶の葉	カフェ	~999						○	○
キャピタル	カフェ	~999	○						
6階									
キャンティ	カフェ	1000~	-	-	-	-	-	-	-
8階									
イ・プリミ・銀座	イタリアン	1000~	○	○	○		○	○	
上野精養軒	洋食	2000~	○	○					
銀座アスター	アジア	2000~	○	○					
とんかつ恵亭	和食	2000~	○	○					○
明月庵	和食	1000~	○	○					○
築地「富川本屋」	和食	3000~	○						○
つな八	和食	2000~		○					○
すし田乾山	和食	3000~	○						○
つる家花陽	和食	4000~	○	○					

店舗ごとに価格・ジャンル、どのような掲示物があるかを示した（表1）。階が上がっていくにつれて、設定価格が高くなっている。6階と8階は下の階に比べて掲示物が多いことがわかる。

表2 店頭メニューの言語表記

階数	店舗名	価格帯	日本語	英語	簡体字	繁体字	韓国語	その他	計
B1階	寿司田	1000~	○						1
	茶の葉	~999	○						1
	キャピタル	~999	○	○					2
6階	キャンティ	1000~	-	-	-	-	-	-	-
8階	イ・プリミ・銀座	1000~	○	○					2
	上野精養軒	2000~	○	○					2
	銀座アスター	2000~	○	○	○				3
	とんかつ恵亭	2000~	○						1
	明月庵	1000~	○	○	○				3
	築地富川本屋	3000~	○						1
	つな八	2000~	○						1
	すし田乾山	3000~	○	○	○		○		4
	つる家花陽	4000~	○	○					2

これは、店頭にあるメニューがどのような言語表記をしているかを示した（表2）。店頭メニューには、日本語、英語、簡体字、韓国語が表記されていた。ほとんど日本語表記と英語表記が多いが、他国にも有名な寿司の店舗では、特に多言語表記されていることがわかる。

7.6.3.まとめ

松屋銀座は、和食店舗が多く他国の人に日本の魅力を伝えているのだ。特に、和食店舗とカフェでの多言語表記がしっかりとされていた。言語表記が少ない店舗は、ポスターやショーウィンドウの掲示物により目を引くようなものがあった。このような工夫をして、十分にインバウンド対策がされていることがわかった。

7.1.調査概要

7.5.三越銀座のレストラン街における言語景観について（澤田直人）

7.7.銀座百貨店のレストランフロアにおけるインバウンド対策（岡本有加）